

指標	定義	データ等
高速IC 30分カバー率	○鳥取県人口に対して、高規格幹線道路、地域高規格道路又はこれらに接続する自動車専用道路のインターチェンジから30分で到達可能な市町村の居住人口の占める割合。	(所要時間) 平成17年 道路交通センサス (人口) 平成12年国勢調査
第三次医療施設 60分カバー率	○鳥取県人口に対して、第三次医療施設から、60分で到達可能な市町村の居住人口の占める割合。 ※第三次医療施設とは、高度な医療、著しく重症な患者さんが検査や治療を受けることのできる救命救急センターのこと。県内では鳥取県立中央病院(鳥取市)及び鳥取大学医学部付属病院(米子市)がこれに該当する。	(所要時間) 平成17年 道路交通センサス (人口) 平成12年国勢調査
主要 渋滞ポイント数	○主要渋滞ポイントの数 ・一般道路(DID:人口集中地区内)は、渋滞長が1,000m以上、または通過時間が10分以上の箇所。 ・一般道路(DID人口集中地区外)は、渋滞長が500m以上、または通過時間が5分以上の箇所。 ・高速道路では、インターチェンジの出口等でボトルネックとなっている箇所、渋滞回数30回/年以上または平均渋滞長概ね2km以上。 ※DID:人口集中地区とは、国勢調査における人口密度が40人/ha以上の区域で、区域内の人口が5,000人以上の地域をいう。	—

指標	定義	データ等
生活中心都市 30分カバー率	○鳥取県人口に対して、地方生活圏の中心都市(鳥取市、米子市、倉吉市)から、30分で到達が可能な市町村の居住人口の占める割合。 ※地方生活圏とは、総合病院、各種学校、中央市場等の広域利用施設が、概ねバスで1～1.5時間程度で行ける範囲の圏域(半径20～30km程度)。県内では、鳥取市、米子市、倉吉市を中心に3圏域が定められている。	(所要時間) 平成17年 道路交通センサス (人口) 平成12年国勢調査
死傷事故件数	○1年間に鳥取県内で発生した死傷事故の件数	(県内事故件数) 平成18年版交通年鑑 [鳥取県警察本部]
緊急輸送道路における橋梁震災対策数	○第1次緊急輸送道路において、地震発生時に倒壊や落橋を防止するための耐震補強対策が必要な橋梁のうち、必要な対策が実施された橋梁数。 ※緊急輸送道路とは、地震発生時に円滑かつ確実な緊急輸送を実現するための道路であり、第1次緊急輸送道路は、県庁所在地、地方生活圏中心都市、重要港湾、空港と幹線道路施設を連絡する道路。	—